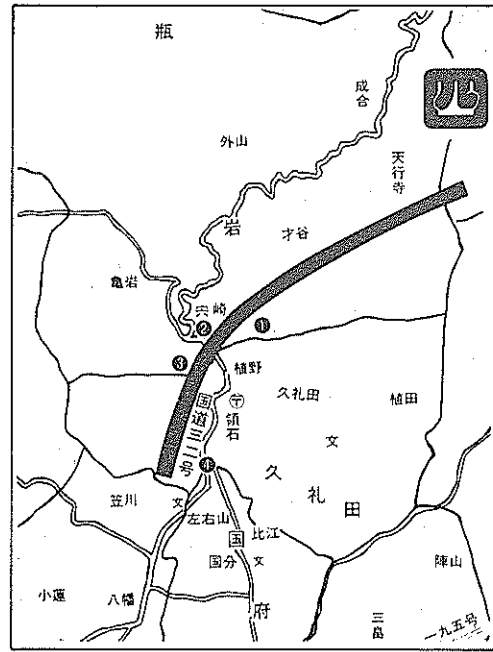


四国横断自動車道

大豊—南国間

今秋に路線発表か



本四連絡橋の「児島—坂出」ルートが早期完成となったことにより、それに伴う四国横断自動車道の大豊—南国間が注目されている。すでに日本道路公団では、この区間について地質、地形などの調査を終え、建設大臣の認可を待っており、今秋には路線発表と見られていた。

また、地元民の厳しい陳情も行われており、どこまで住民の要望が受け入れられるかも関心の的になっている。

本州と四国を結ぶ本四連絡橋三ルートのうち、早期完成を目指すルートが「児島—坂出」と決定したことにより、四国横断自動車道の大豊—南国間の動向が注目されている。

この四国横断自動車道は、高松と須崎を結ぶもので、大豊—南国間の二十三号線は去る四十八年十月に建設大臣から日本道路公団に施行命令が出されましたが、石油シ

ヨックのためたな上げされていたものです。それ以来、日本道路公団大阪建設局高知調査事務局が地質、地形、気象条件、関連公共事業、文化財、環境など各種調査を行い、航空写真撮影で十分の一の図化による大まかな線引きを進めてきました。そして、この実施計画書の建設大臣の認可を待って、早ければ今秋十月頃には路線発表がなされることになりそうです。

四車線で時速八十キロ道路に

この実施計画書にある「案」でこの図を見ると、④の領石にインターチェンジを設置し、③の農業高校の実習園東側を通り、②の才谷忠孝と才谷入口の間を通り、①のゴルフ場の北側を通ります。ここから現在の国道三三三号線より東側のコースをとり、北上します。

広報委員の目



文字と生活

今日の社会で生活する上において、文字はどうしても欠くことのできない要素となっている。

ところが現実の問題として、文字を知らないため、日常生活に種種の精神的な苦悩と不安、更に、仕事の上においても不利な状態に追いやられている実態がある。

この実態が同和地区に多く現われているといえる。なぜ同和地区住民の中に字を知らない者が多いのか。それは、部落差別によって教育を受ける権利が保障されなかつたからである。

このような差別を受けながらも文字を知りたい、要求から全国的に識字率が開設され、その中で学習したおばあさんが初めて書いた次の文を紹介したい。

「じをおぼえてからけしきがうつくしくみえだした。

わたしは、うちがびんぼうであったのがうこうへいっておりま

領石にインターチェンジ

地元民が陳情

四国横断自動車道の建設計画で、領石の南側インターチェンジ（倉ノ坂側付近）は少なくとも六ヶ所の用地を必要とし、そこに警察、消防なども含めた管理事務所ができることが明らかになっていくことから、地元側は地区総会

九月は家出のシーズン

家出とは、保護者の監視のもとを離れ帰宅の意思のない場合をいう。無断外泊との相違は、帰宅の意思の有無が区別する。両者の限界は簡単には決められない。

いずれにせよ、少年の場合には、生活力の弱さ、被害者転落の危険性が大きいことから、家出の問題はいつも重大問題とされる。

家出は、よほどの原因や理由があったのだと考えがちである。従来の家出は立身出世を夢みて独立していく目的型とか、人間関係の疎外から家を出る逃避型が典型として考えられてきたが、今日でもこのタイプはないでもないが、現在の少年は、何となくつまらなく家を出たり、自由になりたいと

いう気持ちから家を出る「遊び型」の家出が圧倒的に多い。すなわち気軽に、ふらりと家を出る風潮である。

それは、いくつかの理由が考えられる。まず生活環境の変化によって家出を思い止まり苦しみを耐えるという抑止力を弱めている。また家という概念もかなり弱まり親の元と一緒に住まなければならぬという原則や夜間に家について寝るものという習慣もや崩れ始めてきたことから、アパートに別居したり、深夜喫茶で泊るということになる。また広域的に友達関係を訪ねて、あちこちの場所を転々とする傾向も見られる。このような点からも家出や外泊の観念

員長は、「高速道路の建設に絶対反対の立場をとるものではないが、今後は建設省の高知東バイパスもでき、領石は道路網に包囲され、集落が細分化され、谷間に点在する形になる。」「農用地を失い、騒音の被害が出て、水資源に悪影響が予想される。」「設定については、できる限り集落を離れた位置へ。生活環境破壊せぬようお願いします」と訴え、陳情しました。

そのもの変容が見られる。ある調査によると、中学、高校生の五二割が一度は家を出たいと思ったことがある、という答えを見たとき、家出に対する欲求や憧れがかなり高く、それだけでも準備性があると考へなければならぬ。

家出している間に、シンナー、ポント遊びを覚えた学校へ行こうとすなくなってしまう。家出—不良交遊—薬物乱用—不純異性交遊—怠学などをくり返し、ほとんど登校せず、保護者の監視に服することなく、乱れた生活を続けこのまま放置すれば意志薄弱の性格からみて将来は非行（犯罪）を犯すおそれがある行動へと進む。家出によってもたらされる不安定な生活は、確かに非行への距離を縮め、その機会もより多いこと

この夢の高速道路が完成すると、高知から高松までの所要時間は、わずかに約一時間半となり、現在の国道三三三号線の三時間半や、国鉄土讃本線の二時間半、三時間よりは、はるかにスピードアップとなります。

また、台風や大雨災害の多い本県にとって、大雨などですぐ不通となる国道三三三号線、国鉄土讃線と違い、災害に強い大動脈としてたのもしき存在となります。

そこでは大人の飼いきになったりする危険性が大きく被害に遭つたことを喫機として社会的脱法者としての道を歩むものは決して少なくない。この被害が人生の岐路ともなるほど重大な意味を持つているのである。

家出少年は発見保護されるより非行少年として補導している過程において判明することが多い。

少年の家出防止活動は非行防止の一環として大きな意義がある。

■家出相談は少年補導センター ☎04201、又は南国警察署少年係 ☎02151

せん。だからじをせんせんしりませんでした。

いましきがつきゅうで、べんきょうして、かなはだいたいおぼえました。いまま、おいしやへいって、うけつけでなまえをかいてもらっていましたが、たしにじぶんでかいてみました。かのごふさんが〇〇さんとよんでくれたので大へんうれしかった。

たやけをみてあまりうれしとおもわなかつたけれどじをおぼえてほんとうにうつくしいとおもうようになりました。

みちをあるいておつても、かんばんに気をつけておつてならつたじをみつけると大へんうれしく思います。

すうじおぼえたのでスーパーやちくよういちへゆくのがたのしみになりました。

またりよかんへいってもへやのばんごうをおぼえたので、はじをかかなくなりました。これからはがんばつてもっととんとんきょうをしたいと思います。

もう十年ながいきをしたいと思います。

（原文）

差別によって字を知らない時の生きさまや、学習後、すばらしく人間成長した姿を短い文ではあるが読み取ることが出来る。